



消太から お願いします

### 消火器のリサイクルに

ご協力ください！

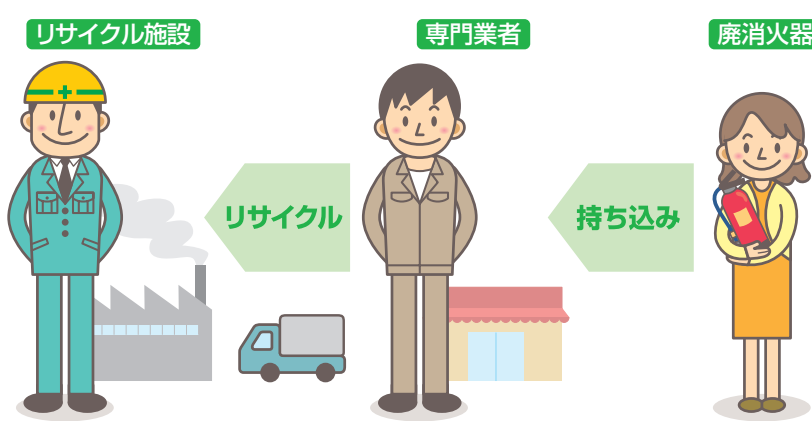
！耐用年数は一般的に8年です

古くなった消火器や傷んだ消火器は、破裂事故が起こりやすくなります。耐用年数を過ぎているものは絶対に使用せず、速やかに処分してください。

消火器の処分方法が、今年1月から変更され、次の3通りとなりました。それ以外の方法では処分できませんので、必ず専門業者にご依頼ください。

手続き方法・取り扱い業者など、詳しくはお問い合わせください。

▼消防課予防危険係 ☎23局 4074



1 ● 専門業者への持ち込み「有料」  
専門業者に引き取ってもらうと、次の流れで処分されます。

### 2 ● ゆうパックを利用「有料」

郵送で処分する方法です。次の手順で手続きを行います。

- 1 エコサイクルセンターへ電話します。☎ 0120(822)306
- 2 エコサイクルセンターから消火器の包装箱が自宅へ届きます。
- 3 包装箱に古い消火器を入れ、郵便局に持っていくか、集荷してもらいます。

### 3 ● ホームセンターなどで下取り

販売店によっては、新たに消火器を1本購入すると、古い消火器を1本無料で処分してもらえます。

詳しくは、お近くの販売店にお問い合わせください。

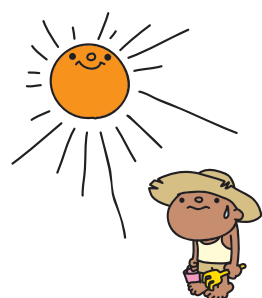
救子から お知らせします

### 気をつけよう！「熱中症」

毎年暑くなると、多くの方が「熱中症」により救急搬送されます。熱中症とは、暑い環境で発生する障害の総称で、主に「失神」「めまい」「頭痛」「吐き気」「けいれん」「意識障害」などの症状が現れ、重症化すると死

に至る恐れがあります。

熱中症は、非常に暑い7～8月の日中に起こるイメージがありますが、実はそのような典型的な例ばかりではありません。梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、身体が暑さに慣れていないときにも起こりやすいのです。



### ● 「熱中症」を防ぐために

- ◆ できる限り暑さを避けよう
- ◆ 服装を工夫しよう
- ◆ こまめに水分補給しよう
- ◆ 急に暑くなる口にご注意しよう

### ● 「熱中症」になったら

- 1 涼しい場所に移す
  - 2 衣服を緩める
  - 3 冷たいスポーツドリンクや食塩を少し入れた冷水を飲ませる
  - 4 意識がないなど、容態が思わしくない場合は救急車を呼ぶ
- 熱中症の初期段階で軽症に見えても、後に急変する場合もあるので、経過に注意しましょう。